



京都部 部長主題	「人生は一度きり Part 2」 ～ワイズライフで人生を謳歌しましょう！～	京都部部长 中村隆司 (京都ウエル)
西日本区理事主題 スローガン	Challenges for the future 未来への挑戦 羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって！	西日本区理事 新山兼司 (京都トップス)
国際会長主題 スローガン	“Y's Men with the World”「世界とともにワイズメン」 “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」	国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (韓国)
アジア太平洋国際地域会長主題 スローガン	Make a difference beyond the 100th「100年を超えて変革しよう」 “Be healthy!” 「健康第一！」	アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

二年間の部長職を終えて！

京都部部长 中村 隆司 (京都ウエルワイズメンズクラブ)



在京ワイズメンの皆様、こんにちは！日頃からワイズ活動にご尽力を頂き有難う御座います。とうとう私の二期に渡る部長期もピリオドを打つ時がやってきました。第4回評議会を終えさせて頂き、石倉部長に部旗も引き継がせて頂き、お陰様で無事に一年間を締めくくらせて頂く事が出来ました。

皆様には心から感謝申し上げます。

この一年間も前期に続き本当に色々な事がありました。私にとってはかけがえのない、そして大変充実した一年間でした。YYY フォーラムやチャリティーラン、そしてチャリティーボウリング等、前期に続き中止となってしまった事業もありましたが、今回は部長公式訪問も全クラブで開催をして頂き、京都！綺麗やわぁ大作戦の第二弾にもご協力を頂き、また各事業懇談会やメネットアワー等、それ以外にも本当に沢山の事業を実施させて頂く事が出来ました。中でも私の念願であり、二期連続で部長をさせて頂く大きなきっかけとなりましたワイズデーと部会に関しましては、コロナも味方をしてくれたかどうかは分かりませんが、開催前に落ちてくれ、また天候に関しましては奇跡の様な事が起こり晴天となり、無事成功裏に終えさせて頂く事が出来ました。神様に、そして皆様に心から御礼申し上げます。またこの二つの事業は皆様のご理解ご協力が無ければ実現する事が出来ませんでしたので、改めてワイズの友情の素晴らしさに感動致しました。この両事業の準備や進行等にご尽力を頂きましたワイズデー実行委員会の皆様、部会実行委員会の皆様、協力クラブの皆様、本当に大変であったと思いますが、最後までお付き合い頂き有難う御座いました。そして今期も新メンバー獲得に積極的な活動を行って頂き、めでたく32名の新しい仲間が増えました、今後がとても楽しみです。次期は直前部長兼監事と言う立場で引続き京都部に携わらせて頂く事になりますので、微力ではありますが今期同様ハリキッテ尽力させて頂きます。

この二年間、毎日が楽しくてたのしくてアツと言う間に終わってしまいました。勿論楽しい事や嬉しい事ばかりではなく、辛い事、悲しい事、しんどい事、大変な事が沢山ありました。ですが一緒に京都部の為にご尽力を頂いた三役、役員の皆様、ご理解ご協力を頂いたウエルクラブの皆様、そしてメネットのお陰で乗り越えて来られました。私の我がままにお付き合い頂き有難う御座いました。そして一杯いっぱいご迷惑をお掛けし申し訳御座いませんでした。この二年間を終え、燃え尽きた症候群になるどころか益々ワイズの事が、そして皆様の事が大好きになりました。ワイズの友情は永遠に不滅です！ワイズの友情最高！これからも「楽しくなければワイズじゃない！」の精神で引続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

■ 下半期を終えて 部役員



次期部長 **石倉 尚**
京都キャピタルワイズメンズクラブ

中村部長、2年に及ぶご活躍お疲れさまでした。役員の皆様も大変お疲れさまでした。念願のワイズデー、待ちに待った部会も盛会にお開きとなり、部長が掲げられていた「楽しくなければワイズじゃない！」の通り、明るく楽しくワイズ活動を全うされたと思います。私たち次期の役員も、この2月より慌ただしく準備を始め、6月19日の評議会を迎えて、いよいよ第27期に突入します。あと1年と思うと「あっ！」という間に終わりそうな気持ちになりますが・・・現在は、9月3日の部会、その後のワイズデーの準備にみんなで取り組んでおります。コロナの状況がどうなるのかわかりませんが、この1年間、次期部長として学ばせていただいた事に感謝し学んだことを十二分に発揮いたします。次期役員、次期会長はもとより誰もが役を受けて良かったと思える一年になるように活動してまいります。



監 事 **島田 博司**
京都ウエストワイズメンズクラブ

中村部長をはじめ京都部役員の皆さん、3年の長きにわたるコロナ禍が続く中、京都部のためにご尽力いただきありがとうございます。今期は前期には出来なかったワイズデーや部会が開催されたこと、これもひとえに中村部長のリーダーシップの下、各主査さん、実行委員会の皆さんのご尽力であったこと、本当に感謝しています。開催にあたっての判断や設えなど、度重なる制限の中、本当にご苦労であったことと思います。その中でもたくさんの参加者、そして大きなトラブルもなく成功裏に終えたことは来期にもつながることだと思います。私自身、4年にわたって京都部役員をさせて頂き、最終である今期は監事として、違った角度から全体を見させていただき、また違った京都部を後ろから応援させていただきました。2年半前、今となっては三条商店街にて1,000人を集めてのワイズデーでのギネス挑戦は奇跡のような出来事だったと思います。しばらくはあのような大人数で密集したイベントは開催されるのは難しそうですし、記録が簡単に破られることはないでしょう（笑）長きにわたり任期とともに私自身も成長させていただきました。感謝しかありません。京都部の皆様、ありがとうございました。



統括担当主事 **藤尾 実**
京都 YMCA

2021年度も、新型コロナウイルスの変異株の出現により、ワイズメンズクラブの活動も引き続き影響を受ける年となりました。そのような中でもサバエ教育キャンプ場・リトリートセンターの維持管理ワークやリトリートセンターオータムフェスタ運営、子どもたちの野外活動用テント購入費支援など、京都YMCAの諸活動に多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

また、YMCA サービス事業以外でも、CS 献金を「YMCA 子ども・ユース・地域支援ポジティブネット募金」に、メネット 献金を、「YMCA 子どもキャンプ事業」に、それぞれ寄付いただくなど、YMCA の活動をワイズメンズクラブ各クラブのみならず、いつも担っていただいております。2021年度より進めています京都YMCAの中期計画（3か年計画）ではYMCAが「地域から必要とされる存在」になるために事業変革を進めてまいります。今後とも、ワイズメンズクラブのみならず、どうぞよろしくお願い申し上げます。



書記 **今村 隆宏**
京都ウイングワイズメンズクラブ

第 25 期、26 期京都部書記を務めさせて頂き、本当にありがとうございました。準備段階からすると 2 年半ですね。私がウイングクラブに入会をして、30 年も経ちましたが、その間、会長をさせて頂いた時は大変で、でも最高に楽しかった記憶があります。その 1 年半をどう過ごしたかにより、充実感と達成感で大きく変わる。もし 25 期だけで中村部長期が終わっていたら、このような気持ちにはなれていなかったのでしょうか。奇跡的に開催されたワイズデーや延期を決断され、開催にこぎつけた京都部会。ウエルクラブは凄い！！メンバー数は少ないけれど、素晴らしいメンバーが揃い、まるで家族？親戚の集まりとも思えるような仲間。中村隆司という男が好きで、勿論・・・典ちゃんも大好きです。そんなお二人を囲んで京都部のお仕事をさせて頂いた事に感謝致します。大した力にもなれませんでした。勝手に親戚になれたよう錯覚を抱いております。26 期で交流を深めて頂きました各会長様、本当にお疲れ様でした。同期会長会にも是非キャビネットも呼んでください。最後になりましたが、中村部長本当にお疲れ様でした。『人生は一度きり Part2』～ワイズライフで人生を謳歌しましょう～ 達成ですね！！



書記 **松田 博一**
京都ウェルワイズメンズクラブ

皆さん、お疲れ様でした。中村部長、2 期連続の部長職、無事終わることができましたね。京都部の役員として、同じクラブのメンバーとして、また友人として、肩の荷が下りた思いです。只々 2 年間やり遂げたというより、しっかりと取り組むことができた 2 年間であったように思います。とても良い経験となりました。皆さん、本当にありがとうございました。「有り難う」の反対は「あたりまえ」だそうですが、コロナに始まり、中村部長が 2 期連続で部長をやると言い出し、そして、ワイズデー、京都部会が実施でき、本当に「ありえへん」ことばかり起こった 2 年間でした。例会は毎月開けるのがあたりまえ。毎月皆で会えるのがあたりまえ。飲んで騒ぐのがあたりまえ。部会はできてあたりまえ。みんなが元気なのがあたりまえ。支援ができるのもあたりまえ。そんな「あたりまえ」は、本当はとても「有り難い」ことだったのだと気づかされました。ならば、最後にもう一度お礼を言いましょう。ワイズの皆様とご家族に。京都部の仲間に。クラブのメンバーに。皆さんのお心に。いろいろな出来事に。そして友人に。楽しかったです。有り難うございました。



会計 **小野 敏明**
京都プリンスワイズメンズクラブ

2021 年 9 月 30 日にコロナ禍に伴う緊急事態宣言ならびにまん延防止等重点処置が全面解除された。ようやくコロナ禍前の状況へ戻ろうと歩みを始めた矢先の 11 月後半、変異株である『オミクロン株』の感染が急速に拡大。下半期がスタートした 1 月には全国 36 都道府県にまん延防止等重点処置が適用されコロナ禍の只中に逆戻りして始まった下半期（振り返れば、11 月に実施されたワイズデーは奇跡に近い）。1 月から続いたまん延防止等重点処置は、部会開催の判断期日が迫った 3 月 21 日に全面解除。4 月 17 日に京都部部会が、公衆衛生上の行動制限処置の影響が残る状況ではあるが無事に開催された（これもまあまあ奇跡に近い）。コロナ禍の網をかいくぐり、ワイズデー並びに京都部部会を『盛大』に開催できた事は、中村部長の数年に渡る怨念が天に通じた結果だと思う。最後に、短い期間ではありますが役を与えて頂きありがとうございます。第 27 期はコロナの渦に巻き込まれない期になるよう祈念いたしております。

■ 下半期を終えて 部役員



事務局長 **西村 和真**
京都洛中ワイズメンズクラブ

京都部事務局長を二期にわたり務めさせていただき、すべてをやりきった。そんな気持ちで今います。コロナ禍という初めて経験するこの二年半の新たな社会との向き合い方、ワイズメンとしてのあり方、大変有意義な時間でした。前期、模索しながらもなかなか思うように事業が出来なかった、そして一年が終わった。しかしもう一期機会を与えていただき、「ワイズデー」「京都部部会」を、中村部長をはじめ京都部皆の想うかたちで出来たことを本当に嬉しく思います。ただ業務をこなすだけでなく沢山のことを考えました。嫌になることもありました。しかし、やはり仲間がいるってことに多く救われました。新たな出会いもありました。そのすべての皆様に感謝申し上げます。次期からも京都洛中クラブの一員として、クラブを、京都部を楽しんでいきます。また皆様とお会いできる日を楽しみにしております。本当にありがとうございました。

■ 下半期を終えて 事業主査



主題

再びYMCAと共に動きだそう！

YMCA サービス・ユース事業主査
佐古田 正美
京都 ZERO ワイズメンズクラブ

昨年2月、中村京都部部長からの1本の電話を受けてYサ主査就任を二つ返事で了解したものの、この1年を振り返ると実にだらしのない主査であったと猛反省しております。初っ端、今期1発目の重要事業であるリトセン夏季ワークを欠席！さらに最終第12回の役員会も欠席！京都部の皆さまには随分ご迷惑を掛けてしまいました。ただ一番嬉しかったのは、我がZEROクラブのメンバーが例年以上にYMCAサービス事業に力を入れてくれたことでした。特にサバエ教育キャンプ場の夏季ワークでは連続2週にまたがる作業を多くのメンバーでこなしてもらい、残念ながら今期でキャンプ場は閉場となったもの実に良い思い出にしてもらいました。また京都部一丸で取り組んだワイズデーも心に残る一大事業となりました。京都市内から遠く離れた舞鶴の地に、200名を優に超えるワイズメンが集結してきた光景は今も忘れることが出来ません。

これに続く感動はYMCAのリーダー卒業祝会でも味わいました。いまだに若干の距離感を感じるワイズとユースメンバーではありますが、あの若者たちの涙は実に充実感にあふれたものを部外者ながらも感じ取ることができ、思わずもらい泣きしてしまいました。もちろん、2年7か月越しの執念の京都部部会開催も取り上げないわけにはいきません。そのコロナの影響で残念な事業もありました。特にYYYフォーラムはワイズとYMCAとユースメンバーが一体となって音楽を楽しむという画期的な企画を考えていただけに、まさにコロナ憎しの感があります。また何回かの役員会や評議会、その他はやむなくZOOM開催となってしまい、あの臨場感のなさは如何ともし難いものがありました。

ともあれ、この1年間、足を引っ張り続けた主査ではありましたが、皆さまに厚く御礼申し上げます。





主
題

地域奉仕で新たな出逢いを、 未来へつなごう環境事業

地域奉仕・環境事業主査

藤松 幸一

京都パレスワイズメンズクラブ

コロナ禍前の日常に少しずつ戻り、ワイズメンズクラブの活動も開催できる事業が増えました。しかし、全てが自由になったわけではなく、今後もコロナウイルスと共存し注意をしながらの活動が続く事でしょう。今期の地域奉仕・環境事業も下期に入り、毎年恒例のチャリティーボウリング大会をホストクラブとして、トップスクラブの皆様が準備のミーティングを何度も行って頂いていたのですが、まん延防止期間と感染者も多かった事から最終的には残念ですが中止となりました。直前までご準備にお時間を費やしていただき本当にありがとうございました。また、綺麗やわあ〜大作戦も各クラブの皆様にご協力を頂きありがとうございました。京都部会でワイズデーと共に映像も間に合わせて頂き、記録として残すことができ PR 委員会と連携しての広報活動もスムーズに行う事ができました。今期を振り返り、上期は懇談会も開催でき、そしてワイズデーが良い時期に開催され、大成功に終わりました。遠方にも関わらず、大変多くのワイズメンにご参加を頂き、また皆様から励みになるお言葉を沢山頂戴し感謝申し上げます。また、各クラブからの事業報告では、様々な素晴らしいお取り組みを拝見させて頂き、今後の自クラブでの活動に活かさせて頂きたいと思っております。今回初めて京都部へお誘い頂き、ご迷惑をお掛けしたこともあったと思っております。各クラブへの訪問や、お顔は存じ上げていますが名前を知らなかった方とお話させて頂く機会もでき、京都部全体の仕組みも学ぶことができました。ワイズ活動の視野も広がり、自身の自己研鑽になる良い機会を与えて頂き改めて感謝申し上げます。皆様の温かいご支援のおかげで主査の役を終える事が出来ました。1年間ありがとうございました。



主
題

Let`s Be Strong

EMC 事業主査

合田 太一

京都ワイズメンズクラブ

早いもので、昨年 7 月から始まった今期も終盤を迎えました。下半期は 1 月に 6 名の入会から始まり沢山の入会のご報告をいただき、私も多くの入会式に参列させていただきまして主査として大変充実した半年だったかと思います。それと合わせて退会者の報告もありますが、現状は京都部の会員数は増えていっております。それもひとえに各クラブの皆様の頑張りや思いのなせる業なのかと思います。最近コロナの締め付けもゆるくなってきて通常の活動を取り戻しつつあります。このコロナ禍において色々な問題点や、改善していく必要性など改めて自クラブ運営に関する考え方が変わってきました。これから次期に向けてしっかりと活動ができるようになれば、この 3 年間と違う、また新たなワイズメンズクラブの活動が始まっていくのかな、と楽しみに思っております。やはり多くの活動を通じてメンバー皆さんの満足度を上げることこそ会員増強の一番の近道だと感じております。それぞれのクラブの魅力を再発見していただき、自分の親しい友人を仲間を迎えたいようなクラブづくりを進めていってください。あまり大きな活動はできませんでしたが、皆様に支えられ、この一年間私にとっても学びの多い充実した一年間だったと思っております。本当にありがとうございました。京都部各クラブの益々のご発展を願っております。

■ 下半期を終えて 事業主査



主題 新しい交流様式 ～自クラブ時間を楽しもう!～

国際・交流事業主査

牧野 万里子

京都ウエストワイズメンズクラブ

26期も世界中でコロナウィルスは感染拡大がとどまることを知らない状況の中でのスタートでした。前期、コロナウィルスに翻弄されながらも各クラブからの活発な活動報告をいただいたこともあり、交流事業への不安な気持ちはなく、各クラブの活発な交流活動への期待の気持ちで一杯でした。

まずは8月14日、アジア大会がオンラインで開催されました。映像を通じて、厳粛な雰囲気で行われている式典の様子、そしてアジア区の役員の方が西日本区期をしっかりと掲げられている姿からは、国を超えての熱い友情を実感することができました。各クラブからは、期待以上の活発な活動報告をいただきました。オンラインを通じてのDBC・IBC交流、新しいDBC・IBC締結へ向けての計画、京都部内の各クラブ間での合同例会、ファンド事業・交流活動とのコラボ企画などの興味深い活動報告をいただきました。新しい交流様式が生み出され、それによってコロナ前以上に交流事業が活発に行われているように感じました。また、ワイズデー、京都部会などでは、他クラブとの交流と共に自クラブのメンバーとの時間をとても楽しんでおられる様子が見られました。今期の主題“新しい交流様式”、副題～自クラブ時間を楽しもう～に対しての達成感のようなものを感じさせていただくことができました。ワイズメンの友情を大切に思う思いは、コロナ禍に翻弄されることなく、ますます強い絆となりました。コロナ禍で生み出された新しい交流様式は、今までに育ててきた友情から生まれたものであると思います。大切に育て、さらに強い友情の絆を次の世代に伝えていければと思います。人に出会って、何かを見て、何かを感じて人は変わっていく、人は人から学ぶもの！これが交流の基本であり醍醐味ではないでしょうか。皆様、この一年間本当にありがとうございました。



主題 和・輪・笑 ～今期こそ…～

メネット事業主査

中村 典子

京都ウェルワイズメンズクラブ

2期に渡りメネット主査を拝命させていただきました事、皆様に感謝申し上げます。まだまだコロナの影響を受けながらも下半期には"with コロナ"の対策のもと、色々と事業が出来、ホッとしております。2年越しのメネットアワーの開催が叶い、40名もの皆様と対面で交流が出来た事、感謝の気持ちで一杯です。西日本区でのメネット事業の形が変わる事になり、次期からはメネット主査がおかれ

なく、メネットアワーも今期が最後になるという事で寂しい気持ちはありますが、ワイズメンズクラブの活動にとってメネットの力は大変重要だと思っております。次期以降も他クラブのメネットの皆様方との交流が持てる場をつくって頂けるよう、切に願っております。今期の西日本区でのメネット事業でもあるヘアードネーションへのご協力も、期が始まる前から各クラブ様へとお願ひさせていただいております。京都部より16名様分の髪の毛をドネートしていただき、有難うございました。一人でも多くの子供達の笑顔に繋がる事を祈っております。皆様から戴いた励ましやアドバイス、お褒めの言葉は私の生涯の宝物です。2期に渡りご理解、ご協力いただき本当に有難うございました。





主 題 **出会いから始まるワイズの輪。
伝えよう楽しみの輪！**

PR 委員長
近藤 敦无
京都東稜ワイズメンズクラブ

二年間PR委員長を務めさせていただきありがとうございました。

この二年間はコロナ禍と言う事もあり、多くの例会や式典、イベント等が中止や延期となり、前期は京都部会やワイズデーも開催する事が出来ませんでした。今回は、全てのクラブの部長公式訪問を開催する事が出来、多くのクラブへ随行させていただきました。また、ワイズデーや京都部会もホストとなる京都ウェルクラブの皆さんのおかげでコロナ禍ながら盛大に行う事が出来、大変嬉しく思います。

PR委員会におきましても、情報発信の難しさ、発信した情報への関心の集め方などなど、大変難しさを感じ、多くの課題を残したままとなりました。何度も言いますが京都部のPR委員会として出来る事はわずかです。情報発信は京都部の各クラブの皆様が積極的にPR委員会に対して発信していただいて、はじめてホームページやFacebook、その他媒体を通じて発信する事が出来る様になります。

2年目の今期、明らかに1年目の報告の量とは比べものにならないくらい増えました。

皆様にご協力いただいたワイズデーや京都部会、京都部会については、前期開催できなかった為に直前会長にまでスポットを当てて開催できた様子を、動画を交えて京都部ホームページの方へ掲載させていただいております。是非、ご覧ください。

終わってみれば本当にあっという間の二年間でした。二年間で何が出来たのか？今のところ答えは見つかっておりませんが、次期PR委員長に役割を引継ぎ、継続いただき、2年後3年後に答えが見えてくると嬉しく思います。

本当に2年間、京都部の皆様のご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

■下半期を終えて 各クラブ会長



主 題 **「将来を見据えたクラブづくりを目指して」**

副 題 **Think on the run**

京都ワイズメンズクラブ
会長 **井上 和久**

下半期の活動としては、1月12日、トゥービークラブと合同例会をANAクラウンプラザ京都にて開催しました。他クラブとの合同例会は、久しぶりの開催であったので、我がクラブにとっては非常に有意義な時間となりました。2月はTOF例会をホテル日航プリンスで開催しました。3月例会は山下YMCA保育園長をお招きし、京都クラブと保育園の関わり、保育園の現状と今後について貴重なお話をさせていただきました。4月は、3年ぶりの開催となった京都部会に参加し、部会の重要性を再認識しました。また、4月29日(祝)、リトリートセンターにて、Yサアワー(Yサ例会)と久しぶりのバーベキューを行いました。あいにくの悪天候でしたが、メネット、コメントに加え、故高井ワイズのご親族やYMCAリーダーにもご参加いただき、豊富な食材に舌鼓を打ちました。5月は今期2回目の他クラブとの合同例会として、ゼロクラブとファンD例会(オークション例会)をホテル日航プリンス京都で行いました。オークション例会慣れ(?)されているゼロクラブに終始リードしていただき、楽しい時間を過ごしました。



■ 下半期を終えて 各クラブ会長



主題

次の半世紀へ歩き出そう

副題

新しい時代に調和したクラブを目指す

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 後藤 有志

下半期の活動は新型コロナ感染拡大をうけ、中止になった事業もいくつかありましたが、Y サ事業におきましては、急遽決定したウクライナ支援緊急募金事業を行い、募金を集めると共に、クラブからも献金をさせて頂くことが出来ました。そして、このたび新設された「YMCA 高倉おさなご園」の認知を一般の方々にも促すべく、移動式の看板を寄贈致しました。地域奉仕・環境事業におきましては、3月に綺麗やわあ大作戦で三条 YMCA の清掃を行いました。同月、和敬学園の学生向けに、奨学金を進呈致しました。例年ですと和敬学園の先生と、学生を例会に招待して奨学金をお渡しするのですが、今回は CS 委員長と共に直接学園に訪問し、園長先生に奨学金をお渡しすることになりました。4月はグローバルクラブと共催でイオンモールにて献血事業、6月は京都市動物園にゾウのエサ代寄贈事業を行いました。

EMC 事業におきましては、上半期に続き 2 名の入会式を行うことが出来ました。新型コロナの影響もあり、会員増強はクラブの重要なミッションですので、時期も引き続き力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

心配しておりました例会の方は、300 名を超える多くのご参加を頂いた 50 周年例会をはじめ、振替例会の京都部会など、全ての例会を予定通り行うことができました。総じて、下半期は例年にほぼ近い形で活動ができたように思います。一年間お支えいただきました全ての方々に心より感謝いたします。



主題

「自輪公輪」(造語。自分が回することで周囲を回していこうという意)

副題

素直な心で荒野を耕す

京都ウエストワイズメンズクラブ
会長 福田 英生

ウエストクラブも、コロナ禍のなかで、思う活動の半分にも満たない内容で、長いトンネルのなか、私たちはワイズメンズクラブとして、何が出来るかを考え続けました。それでは今期のウエストがどう活動してきたかを具体的に述べていきたいと思えます。まず、京都部主催のワイズデーから、舞鶴で行われた綺麗やわあ大作戦、中村部長がやっとの思いで、実現までこぎつけた SDGs の取り組みでもある活動事業、我々も久しぶりに思いっきり、多数のワイズメンズが体を動かして楽しくゴミ回収する競技に参加しました。又、ウエストのアクト事業として、平安徳義会の卒業生から成人式をお迎えになられた二人の該当者をサポートさせていただいた事が、楽しいひとときでした。集まった場所は、私営の美術館の裏にある小さな公園を 2

人の撮影場所として皆で歩いたことがまるで昨日のこの様に思い出されます。その後、平安神宮の南側の道を歩いて、2 名をロームシアターの前まで見送るところまでをサポート活動とさせていただいた事はよい思い出です。



YMCA活動はリトセン・桜フェスタがやっとのことで開催までこぎつけました。ウエストの出店は、常連となっているジャンボぎょうぎを手慣れたメンバーの手付きで次々と段取り良く、焼きあがっておいしく頂けたのは、感動すら覚えたものでした。他の出店に関しては、少なくなっていました。私の胃袋は知らぬ間にパンパンになりました。

4月は、遅ればせながら京都部会も実施され、バナーセレモニーで舞台に立たせてもらい、リハーサル通りにやっていたら、まったくあがることなくご披露できたと思いました。

5月は、親クラブであるパレスクラブの50周年記念例会がプラス1で実施されたこと。

特に印象に残ったことは、大野ワイズが中心となって、ラオスにYMCAをつくる過程のこと。

おしまいに、「素直な心で荒野を耕す」という副題を掲げまして、何とか乗り切ることが出来ました。

より自分が直を心掛けることで、ウエストの団結心が生まれました。

ひとえに、至らぬ私に対し後押しをして頂いた皆様に、感謝申し上げたいと思います。



主題

愚直に取り組む

副題

コロナでできなかった事を今期こそ

京都めいぷるワイズメンズクラブ

会長 内藤 昌希

京都めいぷるワイズメンズクラブの内藤です。

今期も残すところ約1月、あっという間の1年でした。下半期もコロナの影響が出てしまい、色々な事が中止になりましたが出来る限りの活動をしました。

宇治のリトリートセンターで行われた「さくらフェスタ」ではメンバーで力を合わせて、キーマカレーの店を出しました。結構評判も良く、皆が「美味しい、美味しい」と喜んでくれました。

また、ウクライナ支援の為に街頭募金では他のクラブの人たちとも一緒に活動しました。小さなお子さんからお年寄りまでたくさんの募金を入れてくださいました。少しでも支援につながることを祈ります。

4月には、延期されていた京都部会が盛大に開催されて感動しました。直前会長までバナーセレモニーに出させていだいて非常に良かったです。舞台での催しで、我々めいぷるクラブは賞までいただきました。

プリンスクラブ、パレスクラブの素晴らしい周年例会にも出席致しました。それぞれのクラブのカラーを感じられて良かったです。めいぷるクラブも次々期が40周年なので大変参考になりました。我々のクラブも独自のカラーを出して、素晴らしい会になるように努めます。

さて、もうすぐ今期最後の大会イベント、西日本区大会です。DBC先のクラブの人たちや、色々なクラブの人たちと会えるのが非常に楽しみです。

次期はコロナが収まり、このコロナの間ほとんど行なうことができなかったCS活動やYサ活動等、通常の活動ができる事を祈ります。





主
題
副
題

SAVE THE EARTH

豊かな地球を未来へ届けよう

京都キャピタルワイズメンズクラブ
会長 亀井 久照

今期のキャピタルクラブの会長して瞬く間に1年が過ぎました。昨年6月の第一回京都部評議会はとても緊張して出席し、クラブを代表して参加している事を実感して、責任の重さを痛感しました。クラブの運営を振り返ると、三役、各事業委員長をはじめ、全メンバーが私を支えてくれました。キャピタルクラブでは原則として、会長は一度しか出来ない事になっているのですが、会長として悔いの無い1年であったかと聞かれると、反省する事が数多くありました。新しいCS事業として、新たな支援先を探していたのですが、実現する事が出来ませんでした。コロナの影響もあり、支援先候補の方とコミュニケーションをとることが難しかったのですが、もっと積極的に取り組む事が出来たのでは無いかと後悔しています。しかし、今期の一番の思い出は11月のワイズデーです。中村部長肝いりのワイズデーには多くのメンバーで参加が出来て、前日にはEMC親睦旅行として宮津市で観光を楽しみました。EMC委員長が中心に楽しい事業になるように企画していただきました。晴天の中で行われたワイズデーは子供の頃に神崎浜に幾度となく海水浴に来た記憶がよみがえりました。そして、故郷の舞鶴市でボランティア活動が出来た事を誇りに思いました。ワイズデーのために、長きに渡りご準備していただいた中村部長並びに京都部役員の皆様に心から感謝申し上げます。会長になるまではクラブの中だけでの交流が中心でしたが、他クラブの方と交流する機会が増えました。会長会も開催していただき、他クラブの会長様との交流が深まり、この先もずっと仲良く出来ると思っています。これこそがワイズメンズクラブの良いところだと思いました。最後に、会長として充実した1年を過ごすことが出来た事を中村部長様、京都部役員の皆様、各クラブ会長の皆様、キャピタルメンバーの皆様へ心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



主
題
副
題

過去には感謝を、現在には信頼を、未来には希望を

何事も一生懸命

京都プリンスワイズメンズクラブ
会長 飯尾 豊

7月4日スタートはサバエキャンプ場の清掃から始まりました。残念ながらサバエキャンプ場は今期で閉所となります。プリンスクラブが重点サポートしておりましたキャンプ場が無くなるのはとても寂しいです。10月10日にサバエキャンプ場で飯盒例会を行う事が出来ました。食事棟の銘板をおろし参加メンバーで記念写真を撮りました。良い思い出です。コロナ禍で3クラブ合同例会も2年間行っていませんでしたが、今期はプリンスクラブがホストクラブになっていた為、グローバルクラブ、ウェルクラブの両会長様に連絡を取り是非とも行おうとご相談させて頂いた所、快諾を得まして10月20日に3クラブ合同例会を行いました。フルートの演奏を聴きコロナ禍で長い間生演奏を聴いてなくて心が洗える例会でした。コロナ禍で長い間EMC活動を行っていませんでしたので10月31日、周山城跡トレッキングを行いました。



周山は昔から良く通る所でしたが光秀が作った古城が有るとは全く知りませんでした。中村部長推薦の「舞鶴！べっぴんな海に大作戦」が11月7日に行われました。舞鶴市の神崎水泳場の砂浜を清掃しました。ただ清掃だけではなくゲーム形式で参加クラブ単位に清掃ゴミの重さで点数を付けて競いました。我がクラブは参加人数が少なく余り良い成績ではありませんでしたが、久しぶりの郊外での活動と素晴らしい秋晴れで楽しい一日でした。35周年の事業として3月13日にYMCAの体操教室の備品が老朽化しているとの意見があり、記念に用具をプレゼントする事と、コロナ禍で身体を動かしていない子供達を対象に行いました。感染症対策を万全にして全3回に分けて1回20名のまでの制限でプログラムを行いました。3月20日に35周年記念例会を開催いたしました。まん延防止中なので余り他クラブにアピールをしないでPR委員会のみ連絡した所、最初はメンバーだけの例会と思っていましたが最終では90名になりました。また近いうちにDBC締結を思っております伊東クラブのメンバーも参加して頂き感謝で一杯です。記念例会もゲストスピーカー、音楽演奏を控えて本来の例会を主とした例会を目指し私の主題の「過去・現在・未来」と演出を変えて感動の例会を行いました。コロナ禍でありながらウイズコロナで活動出来たのも皆様のご協力があったの事と思います。本当に充実した会長期でした。ありがとうございました。



主題

風の時代に生きる

副題

これまで通りの価値観やルールにとらわれず
「風のように」軽やかでしなやかな発想で
クラブ活動を変えていきましょう。

京都センチュリーウイズメンズクラブ
会長 平井 一郎

2022年度1月に入りまして、例会場ハートンホテル、1月20日新春講談会と部長公式訪問。今回初めての講師の方は講談師、旭堂南湖氏に手配致しました。京都部より中村部長、近藤PR委員長・中村メネット主査の三名様が訪問され、京都部の各実情等話されました。続いて5月19日例会は講師、寺尾陶象氏が京焼の歴史と技法について、京焼に関わった人物、技法等又、抹茶茶盃の素焼に絵付けの実演もして頂きました。寺尾様とは私約40年のお付き合いが有りまして、きっかけは茶道裏千家淡交会京都青年部の役員等の仲間でした。現在も毎年大丸京都店、横浜高島屋、日本橋高島屋、大丸神戸店、東京店等各地で個展開催されています。又、令和3年京都府伝統産業優秀技術者、受賞されて現在も活躍されています。又、当クラブ役員会、ハートンホテル（濱登久）内で6回実施。京都部より2月6日評議会（ウェブ開催）4月17日京都部部会（ウエスティンホテル京都）第3部懇親会クラブ対抗お楽しみイベント、我クラブは会長自ら単独でプロ歌手青山勝（あおやましょう）さんに吹き込んで頂きました（ゴッドファーザー愛のテーマ）で舞台上で振り付け致しました。一生の思い出に残る舞台でした。4月22日京都部次期Yサ・ユース事業懇談会（YMCA本館）6月19日京都部評議会、午前中（ウイングス京都）YMCA関係3月13日卒業リーダー祝会（YMCA本館）、4月10日桜フェスタ（リトセン）、6月11日西日本区大会（岡山）結論、昨年7月から今年6月迄例会4回のみ開催でした。当クラブもメンバー減少に付き将来存続も危ぶまれる状態です。最後に当クラブの皆様方、京都部各役員の皆様方、お世話になりましてありがとうございます。大変思い出に残る体験させて頂きました。



主題

もう一步踏み込んで

京都ウイングワイズメンズクラブ
会長 木下 敬悟

下半期は、新年例会は対面で行えたがその後にはメンバーに感染者や何度目かわからないほどの蔓延防止等重点措置にメンバーとの対面での交流の機会を奪われる結果になってしまい残念で仕方がなかったが、3月末に蔓延防止等重点措置が解除されて4月にはトゥービークラブさんとの合同例会にはじまり、長年にわたりサポートさせていただいているJOC Sウォーカーソン・リトセンさくらフェスタ・そして中村部長念願の京都部会と一気に例会や事業の再開でワイズ活動で予定が埋まっていき少し疲れを感じることもありましたが、やっぱりワイズ活動は楽しく中村部長の主題を体感できたと思います。

会長としての今期を振り返ってみると、やはりコロナに振り回された1年だったと思います。しかし、コロナ禍も3年目にもなるとこの状況下でもできる活動や新たな活動を模索しながらその一步を踏み出せたと思っています。思い描いていたような例会や事業の活動が出来なかったですが、同じ悩みを共有できる同期会長たちとの交流を深められたのは一番の財産になっていくと思います。

1年間ありがとうございました。



主題

『新たな道を求めて』

副題

洛中の原点から・・・未来の洛中へ

京都洛中ワイズメンズクラブ
会長 坂井 昇

歴史ある洛中ワイズメンズクラブ第34代会長を拝命し約一年が経とうとしております。主題の「新たな道を求めて」の遂行にメンバー共々懸命に努力を重ねてまいりましたが、残念ながら前・中盤は世界的パンデミックの猛威に襲われ、殆ど活動が制限され zoom・書面の会議だけという悲惨な状況でした、サポートしている『つばさ園』ともお相手が小中学生ということでほとんどの活動が中止となり、残念でした。昨年の末ごろから少しずつ動き出し、念願のDBC 締結相手の『富士五湖

クラブ』への訪問を果たすことが出来ました、多くのメンバーとの伊豆・伊東旅行は富士五湖のメンバーの素晴らしい企画のもと、今期の秀逸の出来事だと思います。年末の忘年会例会・クリスマスファミリー例会・例年行うウエストクラブ・みやびクラブ・洛中クラブとでの新年合同例会と順調に

予定通り企画がこなせたことが幸いでした。延び延びになっていた部長公式訪問も、無事行うことも出来ました（京都部長、並びに主査の方々にはご迷惑をかけましたが・・・）。クラブの状況を好転させることはなかなかできませんでしたが、メンバーの協力で無事過ごすことが出来ました。一応クラブを代表して部会・大会・他クラブの記念例会等出席はすべて出席いたしました。これから洛中も世の変革と共に、若いメンバーを中心に変革を行うつもりです。

京都部・京都の各クラブ様の協力を得て「新たな道を求めて」突き進む洛中に期待していただければ幸いです。





主
題

みんなを守りながら、心を届ける。

副
題

礼（人の世に秩序を与える礼儀礼節の事）

京都エイブルワイズメンズクラブ
会長 山根 拓也

2022年下半期はクラブ活動が停滞して例会も中止がつづきました。

ワイズデーにも2名の参加

・京都部会9名参加 ・メネットアワー3名参加

・パレスクラブ9名参加 ・CATT+F 合同例会9名参加

西日本区大会3名参加予定です。



主
題

Rising Sun

副
題

みんなで乗り越え未来に光を！

京都グローバルワイズメンズクラブ
会長 藤原 君仁

2021年7月に主題「Rising Sun」、副題「みんなで乗り越え未来に光を！」を掲げてスタートして一年、京都グローバルクラブのメンバーとご家族にご理解とご協力により、こうして無事に会長職を終える事が出来ましたことを心より感謝いたします。

私がクラブに在籍した13年間の中で最も早い一年であり、最も充実した時間を過ごすことができましたが、今期もコロナ過の中でクラブの活動がスタートし、例会は時短での開催、緊急事態宣言が発令された際は中止する事となり、常にコロナと向き合いながら状況を判断する時間が続きました。

そして2月にはウクライナで戦争が起り、今現在でも多くの人々が苦しみ犠牲となる状況が続いております。

そんな中でクラブとして嬉しい事もありました。4名の新しい仲間を迎える入会式を行えた事、家族を呼ぶ例会を3回開催できた事（家族例会・クリスマス例会・BBQ例会）がこの一年の中で特によい記憶として残っております。

会長をさせていただいたこの一年はクラブの内外で本当に多くの事を学ばせていただきました。この経験をこれからの人生に活かしていきたいと思えます。

次期は30周年となる大切な期となります。京都グローバルクラブはメンバー全員が一致団結して周年事業に取り組むことができる素晴らしいクラブだと確信しております。

これからは会長をさせて頂いた経験を活かし、クラブの一員として楽しみながら活動していきたいと思えます。

最後になりますが、西日本区役員の皆様、京都部役員の皆様、在京クラブ会長はじめメンバーの皆様、そして京都グローバルクラブのメンバーのおかげで一年を過ごせた事をあらためて感謝申し上げます。





主題

賛否

副題

転生

あとわずかで、みやびクラブが消滅し私の28年間のワイズ人生も一回リセットさせて頂きます。私みたいな者にでも他クラブの皆さんはお声掛け（勧誘）して頂いたり恐縮です、ただ私の中では現状のみやびのメンバーがワイズ人生で、仕事柄、他クラブの方との交流は28年間ほぼなく、全員での移籍が困難になってしまい、お一人だけが他クラブの移籍をされるだけで、他5名は一度休憩させて頂く事になりました。ワイズメンになり大変勉強になり、有意義な時間を過ごせました。最後にはメンバーで西日本区大会に参加できて、とても良かったです。ワイズメンのみなさん感謝です、ありがとうございました。

京都みやびワイズメンズクラブ
会長 奥谷 彰宏



主題

All fun , all the time

副題

～魅力あるクラブへ～

1年間を振り返ってみると、本当にあっという間でした。理事輩出クラブということでプレッシャーもありましたが、なんとか1年間を乗り切ることができました。会長をして感じたことは、やはり準備が大事だということ。分かってはいたのですが私自身も準備不足の中、キックオフを迎えてしまい、まだまだ出来ることがあったんじゃないかなと感じています。でも終わってしまったことは仕方がないのでこれから会長をするメンバーに伝えていけたらと思います。事業ではコロナ禍が継続ということもあり、中止になったものも多いのですが、ワイズデーや京都部会は、大人数で集まることができて最高に楽しかったです。ホストクラブだったチャリティーボウリングは半年間、委員会で色々と企画してきたのですが、やはりコロナの為中止になってしまったのが残念です。EMC では、今期新メンバーが12名入会していただいて、計5回の入会式を行うことができました。これだけ入会式ができたことは、会長として幸せに思いますし、尽力していただいた EMC 委員会ははじめクラブメンバーに感謝いたします。そして西日本区大会は岡山ですということ、大変な部分もあったのですが、クラブメンバー全員で一致団結して何とか成功することができたのかなと思います。岡山までお越しいただいたワイズメンの皆様へ感謝申し上げます。次期は燃え尽き症候群にならないよう、さらに気を引き締めて頑張りたいと思います。最後になりますが、1年間大変お世話になりました中村部長はじめ京都部の皆様！！
ありがとう～♪ありがと～お～♪京都部の皆さん♪ありがと～お～♪

京都トップスワイズメンズクラブ
会長 今西 宏樹



主
題

stay hungry

副
題

現状に満足せず変化を楽しもう

京都トウビーワイズメンズクラブ
会長 宮田 雄輔

もう 6 月になり、あっという間の一年間でした。今までのワイズライフで一番早く感じた一年です。下半期は京都クラブさん、ウイングクラブさん 2 クラブと合同例会を実施することができました。

両クラブとも何度も打ち合わせを行う中で会長・ドライバー委員長と交流を図れたのも合同例会の良さだと感じました。合同例会をすることで例会の進め方・プログラムはクラブごとで違うのだなと改めて感じました。会歴の浅いメンバーは他クラブのメンバーとの交流はいい刺激になったと思います。ベテラン勢は久しぶりの交流を図る良い機会となりました。コロナ禍で合同例会という通常よりも人が集まる例会を、どのように開催するか工夫をしてくれたドライバー委員長には感謝しています。また下半期には、合同例会より

よりも多くのワイズメンが集まる京都部会がありました。2 年ぶりの開催で久しぶりに会うワイズメンと交流できました。クラブ対抗のアトラクションでは、受賞には至りませんでしたが、メンバーの協力があり無事に行うことができました。中村部長が 2 年越しで開催された京都部会は楽しめました。しかし、何と言っても印象に残っているのは今回の京都部会はずっと憧れていたバナーセレモニーです。クラブバナーを持って壇上に立つとクラブを背負って出席していることをひしひしと感じられました。

今期は、会長ということで夜や土日にワイズで出かけることが多かったです。コロナ感染の心配をされながらも外出できたのは家族の理解があったからです。来期は、家族・ワイズのバランスを取りながらワイズライフを楽しもうと思います。

主
題

「appreciate the moment」この瞬間に感謝します

副
題

「仲間と共に前進する」

京都東稜ワイズメンズクラブ
会長 奥村 昭次

東稜クラブ 18 期会長の奥村昭次です東稜クラブ今期の活動について報告させていただきます。コロナ禍の中スタートした今期多少の不安はありましたが通常例会全てでリアル開催出来た事でわずかですがメンバー増強につなげる事が出来ました。東稜クラブを象徴する事業でもある祇園祭りの清掃活動も 2 年振りに再開出来て沢山のゲスト様達にご参加いただいて交流を図れたのは本当に嬉しく思います。上半期最大のイベントであるワイズデーには舞鶴の地で 200 人にもものぼるワイズメンと一緒に海岸の清掃活動を行い美しくなった神崎浜の景色を見れたのは貴重な経験になりました。ただ残念なことに 11 月と 2 月に予定していた合同例会は感染者数増加のタイミングとメンバーの安全を考慮し中止となってしまいました。コロナ禍での運営の難しさは他クラブ様も同様に感じていたと思います。とはいえ中止になった合同例会のひとつはすでに次期に向けて動いており今度こそ無事に開催できると信じています。3 月には今期最も多いゲスト様に参加していただいた例会が開催され女性古美術商の講師を招いて実物の書画数点を持参していただいたの講演は自クラブ他クラブのメンバー様からも大変高評価をちょうだいしました。下期最大イベントで中村部長の悲願でもあった京都部会も無事に開催されてあれだけ大規模で思い出に残る部会にクラブ会長として参加出来た事を大変嬉しく思います。年間通して我がクラブが行ってきた地域のクリーン活動では改めてメンバー同士顔を合わせてコミュニケーションがとれる大切さを実感出来たのではないのでしょうか？ コロナウィルスと共存していく考えが浸透し来期以降クラブ活動の妨げが少なくなるよう願っています





主題

質実剛健

副題

～笑う門には福来る～

京都ウェルワイズメンズクラブ
会長 福井 義泰

2022 年度下半期を終える時期にまいりました。上半期は何とかコロナに襲われながら恐れ恐れやってまいりましたが、下半期は上半期の経験を活かしプログラムをこなせました。我がクラブでは、今期一番重要プログラム、ホストクラブでの京都部会も京都部の皆さんと我がクラブ皆さんで作成し開催出来た事に大変嬉しく思います。各クラブの皆さんからご好評を頂きメンバー一同感謝しております。来期においてはホストクラブと言う責任がなくなり今期出来なかった事をなお一層クラブ発展の為に突き進んで行って欲しいとの思いでバトンタッチが出来たら本望です。今季この様な一年に会長という職責を全う出来たのもメンバーのお陰です。また 2021 ～ 2022 年度会長会の皆さんに力を頂いたりして私の中では会長期を乗り越えられたのは大変大きかったです。Y's Men's ありがとう。



主題

『躍進！！！！』

副題

～達成感をもって人生に彩りを。そして次の 10 年へ～

京都 ZERO ワイズメンズクラブ
会長 澤井 美智子

1 年間を通してクラブのみんなに感じてもらいたい思い。それは「達成感」でした。クラブに在籍していることに意味、価値を見出してほしい。自分の存在をクラブ内で感じてほしい。存在意義が感じられれば委員会・例会・事業の出席率も上がるはず！出席すればクラブが楽しくなってきた人を誘うはず！各委員会にはそれぞれ自分達で達成目標を設定してもらいました。



◆Y サ・ユース・・・「最優秀 Y サ賞を目指します」⇒ 見事達成！西日本区大会で表彰していただきました！！
ありがとうございました。

◆CS・・・「メンバーが 1 つは事業に参加してくれるように声掛けします」⇒ 残念ながら全員が 1 つとはいきませでしたが、半分以上のメンバーが何らかの事業には参加してくれました

◆EMC・・・「メンバー 8 名の増員を目指します」⇒ 見事達成！最終 6 月に 1 名の新入会員を迎え、8 名の増員です。
西日本区大会で優秀賞をいただきました！！ありがとうございました。

◆ファンド・・・「ファンドの意味をメンバーに周知し、70 万円を目指します」⇒ 見事達成！事あるごとに何のためのファンドなのかメンバーに説明し、83 万円以上あつめることができました！！

◆国際・交流・・・「全員から切手を集めます」⇒当初目標とはずれましたが、下半期、ウクライナ支援のために国際交流とは何かを考える例会を開催したり、念願のクラブ旅行(岡山)に 17 名で行くことができました！！

◆ブリテン・・・「全員から原稿を集めます」⇒見事達成！自ら原稿を書くことでブリテンに興味を持ってもらうことができました。毎月発行もできました。

委員会主体で事業を考えていただき、目標達成のために皆が尽力してくださいました。自分たちの活動に満足感を感じていただければいいと思います。引き継ぎ例会では表彰式をします！

皆のがんばりのおかげで西日本区大会では名誉ある「優秀クラブ賞」を頂くことができました。感激です！！とても楽しい1年間でした。ありがとうございました。



主題

Begin Again

副題

今できることを一つずつ

北京都フロンティアワイズメンズクラブ
会長 足立 徳仁

昨年に引き続きコロナ禍でのクラブ運営となりましたが、昨年度のノウハウもありましたので状況に応じて Web 開催とリアル開催を組み合わせて一年間の例会運営を行いました。11月には京都部の一大イベントワイズデーを舞鶴で開催頂き、多くのメンバーに舞鶴までお越し頂きましたが、フロンティアクラブとしても、自クラブだけでは経験できない大きな学びを頂きました。当日参加いただいた方、また前日より舞鶴にお越しいただいた皆様有難うございました。そして昨年に引き続き実施した、第2回 YMCA 杯学童野球大会ですが、今年も雨の影響で日程を変更しながらの開催となりました、11月28日、12月5日と2週に渡っての開催となりましたが、舞鶴市内のすべての学童野球チームに参加いただき、見ている私たちも感動する素晴らしい試合が繰り広げられました。今年はサプライズで開会式に元プロ野球選手の門倉健様にもお越し頂き、始球式をおこなったのですが、子供たちだけでなくご家族の皆様や監督・コーチにも喜んでいただくことができました。後半戦に関しては次年度組織の立ち上げに手間取り、時期の京都部の役員の皆様にはご迷惑をおかけしてしまいましたが、会員間で交わした議論は今後のフロンティアクラブの活動を力強いものにしていくと確信しております。一年間にわたりご協力いただいたすべての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。



■26期 京都部 フォトグラフィ



ワイズメンズクラブ 国際協会西日本区 第26回 京都部 部会





**ワイズメンズクラブ
国際協会西日本区
第 25 回 西日本区大会**





**ワイズメンズクラブ
国際協会西日本区
京都部 第26期 第4回 評議会**

